

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第22号 平成21年 8月 9日

中だるみのゲーム、エラーから得点を献上！

達脇悪夢の登板 こんなはずでは・・・



	1	2	3	4	5	6	7	R
G	0	3	0	0	0	1		4
P	1	0	1	0	1	2		5

8 / 8 (土) 2009KSC予選第6節をライバルチームPIOLAXと、三つ池公園野球場で行った。前日夜半に大雨が降り、開催如何が心配されたが、明けてみた当日は、問題無い天候・グラウンドでゲームが始まった。今日のゲームは、チーム借金解消とKSC@K1リーグ進出を賭けたゲームであるので、是が非でも勝利を手中にしたいゲームであった。今日の我がチームは先攻、先制すると波に乗るチームであるので、先制点は何が何でも欲しいところである。1回表、先頭の哲也が四球を選び、2番ジローが犠打、その後、3番深沢の打席で、哲也が3盗を決め、先制のチャンス、深沢の打球は、若干浅めだが、犠飛になるぎりぎりの中飛、タッチアップで3塁を離塁した直後、哲也の足は、グラウンドにスクワレ、ホームでタッチアウトDPで先制チャンスを逸してしまった。そういえば、後に同様な場所で三ゴロを深沢が捌いた時にも足を掬われていた。若干その周辺は湿っていたのかも？？？ 1回裏相手チームの攻撃、先発政司が、2人を難なくアウトにし、幸先良い立ち上がりかと思った矢先、今日サードに入った深沢が打球をはじき、エラーを献上、その後2盗、そして次打者に左中2を決められ、先制点を献上してしまった。しかし、2回表には、梶原・江越・そしてノドから手が出る程安打が欲しい、泉と3本の2塁打と相手のエラーを絡め、3点をゲット、一挙逆点を果たした。しかし、3、4、5と中だるみの攻撃の間に、相手は、地道に得点を返してきた。相手2点目も2アウトから内野安打で出塁したランナーを左飛の打球をグラブに収めながらも、レフトが弾いてしまい、2点目を献上した。1点リードのまま、5回から我がチームマウンドは、政司から達脇へ交代、本人曰く「僕は1点有れば大丈夫です」と豪語するだけに、その言葉を信じ、5回の守備についた。しかし、そんな彼を今日は天が見放した。先頭打者を四球で出し、その後2盗、WPでノーアウト3塁、絶体絶命な同点のチャンス、しかし、続く2打者を10球で、連続見逃し三振をゲットし、様相は、2アウト3塁、ホットしたのも束の間、続く打者が初球にクリーンヒットをセンターに運ばれ、同点を許してしまった。気分的に追われる我がチームで有るが、最終回先頭の深沢が、センター前ヒットで出塁、続く打者に投ゴロを相手投手が、2塁へFC、ノーアウト1、2塁、今度は我がチームの大量点の予感、続く江越の打球は、遊ゴロで、1アウト1、3塁相手捕手の悪送球の間に1点をゲット、塁上は、2塁に江越、その江越が、果敢にも3盗を狙ったが、3塁アウト、結局1点のみに終わり、最終回の守備に付いた。ところがである、1点有れば大丈夫の言葉を信じた守備陣であったが、急遽その達脇が乱丁、3連続四死球でノーアウト満塁で一気に形勢は逆転された。前進守備を引いたサードに打球が。捕球し、ホームへ、ここでまさかの捕手の落球、これで、同点。続く打者に犠飛(中飛)を浴び、敢え無くサヨナラ負けを喫してしまった。ここで、ゲームを振り返ってみよう。安打の数もエラーの数も相手チームと同数、差が出たのは、四死球の差、そして出塁した際の盗塁数である、やはりどんな結果で出塁しようが、出塁する事で、相手を揺さぶれる、そして、何とか2塁まで行く事で、得点チャンスに繋がる、繋がったというのが、今日の勝敗の分かれ目であろう。決して内容は悪いとは思わなかったゲーム、しかし、3回から5回に相手投手が投げた球数が、29球、3点をゲットした2回に相手投手が投げた球数が27球、これで、いかにこれらの回が中だるみで有った事が分かる。流れ・勢い・結果、勝利の方程式を掴むには、何としても塁に出る、という気持ちであろう。思い切り良いスイング！これが大事！！しかし、それにしてもエラーは怖いですね。次回回は、これらを修正し、勝利を手にしたいたいものである。